



# エバーフィールド 木材加工場

EVER FIELD  
wood working plant

エバーフィールド木材加工場は、建設会社の木材加工場として計画された。

熊本県産の小国杉を使い、小中断面で材長4m以下の製材が互いにもたれかかるように支え合う「木造レシプロカル構造」により、これまでに見たことのない、新しい木造空間が実現できた。

この美しい空間の実現にあたっては、建築家と構造家の提案力、プレカット施工者との間で作成した3次元の施工図を基に、施工を行った大工の高い技術力が集結された。

自然災害からの住まいの再建の原動力となる木造建築産業のさらなる活性化のため、また、大工の育成や技術力の向上を図るためのスペースと

しても計画されており、さらに、地域の災害時の一時的な避難所としての活用も期待されている。

くまもと  
アートポリス  
KUMAMOTO  
ARTPOLIS



# エバーフィールド 木材加工場

## ●建築概要

小中断面の県産流通材のみにより構成された木造大架構建築である。施主であり、施工者である建設会社の木材加工場として計画された。ここでは、小中断面で材長4m以下の製材が互いにもたれかかるように支えあう〈木造レシプロカル構造〉により、無柱大空間が成立している。この建築における〈木造レシプロカル構造〉とは、主に4寸角(120mm角)とその半割の部材からなる3角形のユニットを単位として、これらが互いにく支える一を支えられる」という関係を繰り返すことで、建物全体が構造的に安定する仕組みである。

一般に、〈木造レシプロカル構造〉は屋根架構に限定して用いられることが多いが、この建築では屋根、壁を含むすべての構造的部位が同システムで構成されている点に特徴がある。ドーム状の大屋根と壁をスムーズ接合しつつ敷地境界を越えないように平面形状を雁行させる、間口の小さい敷地に大型車がアプローチしやすいように平面を隅切りして搬入口を設けるなど、意匠と構造が連動し全体を滑らかに構成する上で、柔軟性に富むこのシステムが有効に機能している。

木は「生物材料」と呼ばれることがある。生き物のように気候に応じて水分を増減させ痩せたり太ったりする、曲げやすくしなりに強い、フィトンチッドの効果により人々をリラックスさせ、CO<sub>2</sub>を吸着して地球環境の保全に貢献する、等々。含水率や強度のバラツキ、ヒビの有無、木目や色味の偏りといった一見デメリットと思われる性質も、材料それぞれの個性として捉え、適材適所に用いて活かすことができる。こうした木の性質に根差した、あたたかも呼吸するかのような建築がここに実現している。



## ●建築家プロフィール



小川 次郎(おがわ じろう)

1966年 東京都生まれ  
1990年 東京工業大学工学部建築学科卒業  
1996年 東京工業大学大学院理工学研究科  
博士後期課程満期退学  
2004年 アトリエ・シムサー級建築士事務所設立  
2009年 日本工業大学工学部建築学科教授



小林 靖(こばやし やすし)

1980年 三重県生まれ  
2003年 日本工業大学工学部建築学科卒業  
2005年 日本工業大学大学院修士課程修了  
2007年 コンテンポラリーズ  
2013年 aat+ヨコモソマコト建築設計事務所  
2020年 kittan studio 設立



池田 聖太(いけだ しょうた)

1981年 栃木県生まれ  
2005年 日本工業大学工学部建築学科卒業  
2007年 日本工業大学大学院修士課程修了  
2007年 TNA  
2014年 3916設立

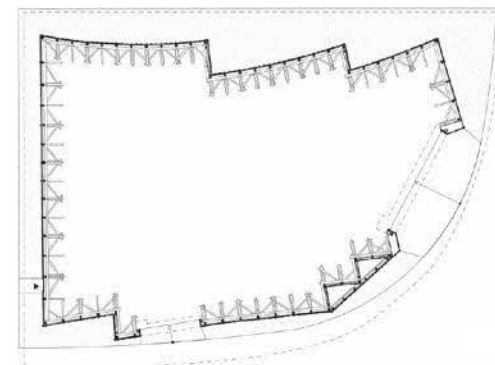
### ●主な作品 (小川 次郎)

モミガラ・パーク、MUDMEN、HDY

### ●主な受賞 (小川 次郎)

2003年 代官山インスタレーション最優秀賞 (EPSP)  
2010年 日本建築学会作品選奨  
(日本工業大学百年記念館/ライブラリー&コミュニケーションセンター)  
2017年 木材活用コンクール優秀賞・林野庁長官賞(熊本県総合防災航空センター)

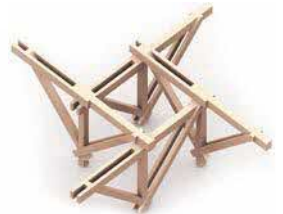
平面図



断面図



0 5 10 20m



## ●建築データ

名称/エバーフィールド木材加工場  
所在地/上益城郡甲佐町大字府領892  
主要用途/工場(木材加工場)  
事業主体/株式会社エバーフィールド  
設計者/小川次郎+小林靖+池田聖太  
施工者/建築・機械/株式会社エバーフィールド  
電気/株式会社T.M・エージェンツ  
敷地面積/1,595.41㎡  
建築面積/859.17㎡  
延べ面積/638.98㎡  
階数/地上1階  
構造/木造  
外部仕上/屋根/ガルバリウム鋼板縦はげ葺き  
外壁/ささら子下見板張りの上自然保護塗料塗布  
施工期間/2021年12月~2023年10月  
総工事費/300百万円



くまもとアートポリス事務局  
熊本県土木部建築住宅局建築課  
〒862-8570 熊本市中央区水前寺6-18-1  
Tel.096-333-2537